



作って



考えて



役立てる

型抜きされたパーツを重ねていくだけで
カ ン タ ン に で き る

段ボールジオラマ防災授業

図工感覚で
楽しく作りながら、
自分たちの町の
地形を体感。

野外ワークと
連動させつつ、
防災を「身近」に
「リアル」に。

授業後も大勢の
目に触れることで、
防災意識を
広げる。

自分の住むまちを知る、それが防災の第一歩。

大切なことなのに、ともすると堅苦しく、縁遠いものになりがちな“防災”。

誰にでもわかりやすいジオラマを自分の手で組み立てることで、

楽しく身近な入口から、防災感覚を育てます。



地図協力：株式会社ゼンリン



一般社団法人防災ジオラマ推進ネットワーク

段ボール防災ジオラマ

検索



段ボールジオラマ防災授業

< おおまかな流れ >



作る

(体感する)

ジオラマの組み立て・色塗り

段ボールジオラマの組み立てと、ジオラマに印刷されている主な道や施設などの色塗りを通じ、学校周辺の地形やランドマークの位置関係を3Dで体感・記憶する。

組み立て作業のイメージ



色塗りのイメージ



考える

掲載情報の検討・マッピング

野外ワークなども活用しつつ、周辺の防災関連ポイントをチェック。載せるべき情報を検討して、ジオラマ上にマッピングする。(危険箇所、避難施設、災害用自動販売機、AED等)



役立てる

地域での展示・活用

完成したジオラマを空き教室や公共施設等に展示し、地域の防災啓蒙ツールとして活用。ハザードマップや古地図等と組み合わせた発展的な展開も。

空き教室

公民館

図書館

コミュニティセンター

銀行

郵便局

など…地域の方にお披露目できる場所での展示

ジオラマ



ハザードマップ
古地図
危険度マップ など…

段ボール防災ジオラマ

検索



段ボールジオラマ防災授業
< 実施事例 >

●横浜市立日枝小学校 (神奈川県)



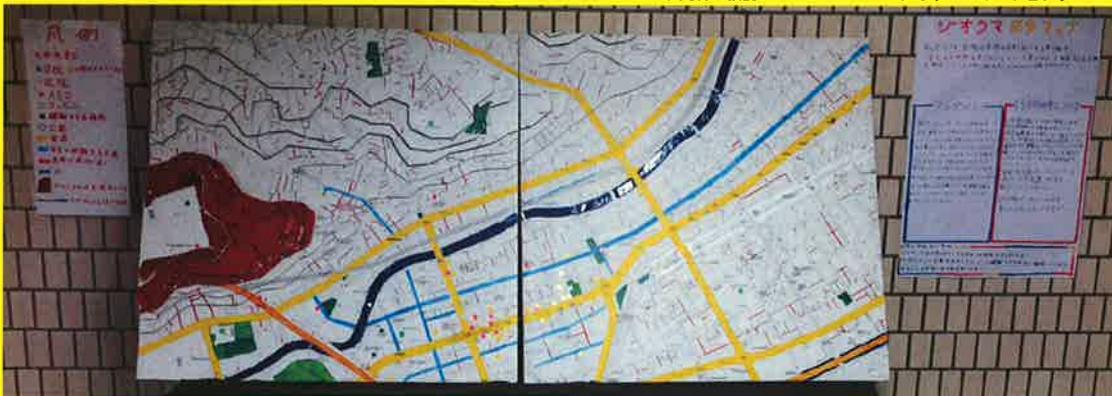
組み立て・気づきの共有



地域の人にヒアリング マッピング内容の検討



ジオラマへのマッピング



近隣の地下鉄駅構内での展示

●横浜市立都岡小学校 (神奈川県)



●渋谷駅前エリアマネジメント協議会 (東京都)



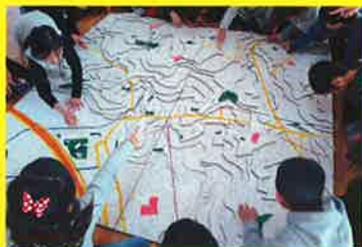
●コサイエ RICOH FutureHouse (神奈川県海老名市)



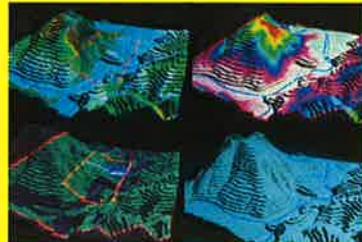
●女川町立女川小学校 (宮城県)



●横浜市立梅林小学校 (神奈川県)



●プロジェクションマッピング



段ボール防災ジオラマ

検索

段ボールジオラマ防災授業

< 実施までのフロー >

まずは事務局へご連絡ください。

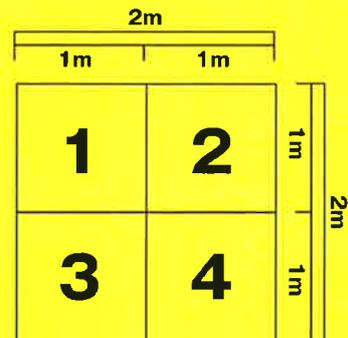
段ボール防災ジオラマを制作する「団体名」「ご担当者名」「制作の目的」「対象としたいエリア」「ご希望の仕上がりサイズ」をお知らせください。

ジオラマキットの仕様を確定します。

基本仕様

- ・ 範囲・縮尺：2 キロ四方、1/1000
- ・ 仕上がりサイズ：2m×2m
1m×1mに4分割してキットを作成
(組み立ての際は4グループに分けて作業が可能)
- ・ 段ボール上には道路や主要施設等が印刷されています。
(地図協力：株式会社ゼンリン)

基本仕様をベースに、範囲・仕上がりサイズ等のご希望をふまえ、制作仕様・費用を確定していきます。



事前にジオラマ作成の準備をお願いします。

必要な道具

- ・ 木工用ボンド 2kg 程度のボトル ×4 グループ分
- ・ 1つのグループにつき、ローラー刷毛 2、トレイ 1、絵筆数本
- ・ 接着時の重し (国語辞典などでOK) 各グループ 6～7個
- ・ 色塗り用マジック (ブロッカーなど) 各グループ 1～2セット

準備しておくの良いこと

- ・ 対象エリアの特性を調べる (ハザードマップや過去の災害情報の確認)
- ・ マッピングしたいものと場所を調べる



ご要望に応じて当日、スタッフや
防災の専門講師を派遣することも可能です。

段ボール防災ジオラマ

検索